

大門議員要求

家族従業員給与認めよ

財務相 所得税法「研究する」

日本共産党の大門実紀史議員は二十四日、参院財政金融委員会、中小企業の家族従



質問する大門実紀史議員
24日、参院財政金融委

業員(事業主と生計を一にして事業に従事する配偶者・親族)の給与を必要経費と認めない所得税法第五六条について、「経済的不公正・不利益があり、働く人間の給与を認めないのは税法上の人権にかかわる。見直しを求める」と要求しました。

与謝野馨財務・金融

・経済財政担当相は、「研究してみる」と答弁しました。

同法第五六条は、家族従業員の給与を必要経費と認めず、事業主の所得に合算するとしています。大門氏は、▽家族従業員は、子どもを保育園に入れるときも所得証明書が取れず、民生委員の証明が必要▽交通事故にあった場合の休業補償も、

専業主婦よりも低額

などの実情を紹介し、政府の見解をただしました。

財務省の加藤治彦主

税局長が「青色申告で税制優遇を認めている」と説明をしたため、大門氏は、「申告の

仕方で差別する前提が間違っている。まず実際に働いている人を『働いている』と税法

上で認めることが大前提だ」と批判。各地の地方議会や税理士会が廃止を求め、米国やドイツなどでは家族従業員の給与を必要経費と認めていることを強調し、財務省が見直しに踏み切ることを重ねて求めました。

一歩動かしな

全商連婦人部協議会
牧野由子事務局長の話

大門実紀史議員の質

問にたいする与謝野馨財務相の答弁は、これまでかたくなに中小業者の家族従業員の働き

分を必要経費と認めてこなかった財務省を一歩動かしただけです。

家族従業員の八割は女性です。同じ仕事をしているのに、青色申告、白色申告で差別され、一人の人間としてその働き分が認められないのは、世界の流れにも逆行する重大な問題です。

この間、全国各地の地方議会で、所得税法五六条を廃止し、業者婦人の地位向上を求める意見書があげられています。

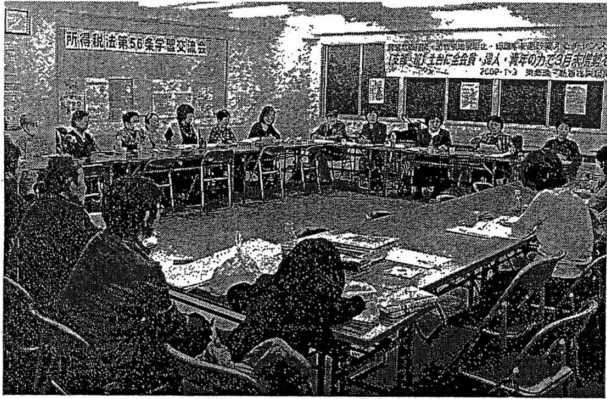
財務相の答弁は、こうした運動と大門議員らによる論戦の成果です。運動の大きな励みになります。

今後は、答弁の具体化とともに、所得税法五六条廃止を求める運動を大きく広げます。

所得税法第五六条

中小業者の家族従業員
の給料は必要経費として認めないことを定めた条項。今の税制では、中小業者がどんなに長時間働いても、事業主や家族従業員の働き分(勤労所得)を認めていません。個人単位での課税という所得税法の原則から逸脱するばかりか、配偶者や家族の人格をも否定するものです。「給与」そのものが認められないために、社会保障制度でも不利益が生じています。

東京都 小金井市 56条廃止の意見書採択



小金井・国分寺国立民商婦人部も参加した東協の学習会(3月)

都内で初、全会一致

東京都小金井市議会は6月24日、「所得税法第56条の廃止を求める意見書」を全会一致で採択しました。都内では初です。この間の民主商工会(民商)婦人部の運動が議会を動かしたものです。

公明も「反対理由ない」

小金井・国分寺 国立民商婦人部 本会議傍聴し安堵

本会議を傍聴し、かたずを飲んで待つていた小金井・国分寺国立民商婦人部の山田紀子部長や若藤好子さんら4人は、採択の知らせを聞き安堵の声をもらいました。

「採択されて本当によかった。部員たちにも知らせて、多摩東地域(武蔵野市・三鷹市・立川市・昭島市・国分寺市・国立市)でも採択されるよう、

小金井・国分寺国立民商婦人部も参加した東協の学習会(3月) 各市議会で働きかけた」と抱負を語っています。婦人部では陳情書提出に先立ち、東商連婦人部協議会(東婦協)の学習会(3月)に参加。『所得税法第56条廃止は自分たち業者婦人の要求。運動の中でそう強く実感した。56条を廃止すれば女性の地位向上につながる。』

「意見を出すことで、反対意見や議員の様子が分かった。まずは行動することが大事」との各民商婦人部の報告を聞き、一歩を踏み出した。

その後、日本共産党市議団と懇談。森戸よう子議員が「全商連婦人部協議会(全婦協)は『同条が女性差別撤廃条約違反にあたる』と述べている。市議会には女性議員も多いので、この点も含めて女性の地位向上も陳情に盛り込む」とアドバース。陳情書の文章を練り直していました。

6月17日の総務委員会では「青色申告」が「問題は」との反対意見が出ましたが、日本共産党の板倉真也議員が「青色や白色といった税法上の申告方法で区別し、働く人の給与を正当に認めないことに問題がある」と

説明。理解と賛同を得て、全会一致で採択されたものです。議会では公明党の議員も「所得税法第57条があの、青色申告にすれば家族従業員も給料が取れる。しかし今は社会情勢も変わってきた。意見書採択に反対する理由はない」と賛同するなど、理解が広がりました。(小金井・国分寺国立・小林功通信員)